

○ 研究業績報告の書き方

研 究 業 績 報 告

総枚数 ↓ ページ ↓

(氏 名) 農 林 太 郎 (○ー 1)

○ 業績整理区分

1. 学会（誌）発表
学会誌掲載論文又は学会での講演要旨を整理する。
2. 公刊図書
一般に市販されている書籍に掲載された論文，総説，実用記事，広報記事等を整理する。
なお，単行本や定期刊行物など図書又は雑誌の形式や発表形態で区分するものではない。
3. 機関誌発表
国，地方公共団体，公庫，公団，大学，外国政府機関，国際機関等から発表された研究報告，年報などの刊行物，掲載論文，総説，研究資料などを整理する。
なお，企画部門等において研究総括検討会議資料，研究推進構想資料等を任務として取りまとめ発表したものを含む。
4. その他
上記以外のもので，研究実績をもとに取りまとめ，成果又は資料として発表又は公開されたものを整理する。
例 特許実用新案
新聞記事
農業技術の普及資料
研修テキスト 等
- 業績整理順
各区分内の業績記載順は，学会誌や所報告のような重要度の高いものを先に記載し，口頭発表等は，その後に記載すること。

- 注意事項---
1. 同一業績を学会誌に掲載後，機関誌に掲載した場合等は主要な方で区分してダブル記載しない。
2. 主任担当者の○印については共同研究者の中で食い違いのないように注意すること。
3. 学術用語については，事務担当者が理解できるよう別紙により解説すること。
4. 左の余白を20mm以上とること。

研究実施機関及び期間	研 究 概 要	発表の時期及び方法	共同研究者
○○○○研究所 自昭和○年○月○日 至平成○年○月○日 ○○○○研究所 自平成○年○月○日 至 現 在	I.に関する研究 ← (研究の背景) ← (テーマ毎に記入) --- ①について記載 (研究の方法) ← (") --- ②について記載 (研究の成果) ← (") --- ③について記載 (研究に対する評価) ← (") --- (研究の分担) ← (") ---	研究業績は，優れて重要度の高い順から記載し，一連で数多くある場合は，それらの業績を総合または集約したテーマをつける。 なお，テーマ毎に新しいページにする。 ① 研究の目的は何か ② 研究方法の創造性 ③ 成果 (ア 新しい技術開発 イ 新有用物質や現象の発見 ウ 新優良品種の育成導入 エ 新理論の確立 オ 実験手段，測定方法等の創案 カ 有用データの収集，解析，考案)	
(学会（誌）発表)	1)に関する研究 一について一 ↑ [.] ↑ タイトルが同じ場合はサブタイトルを付けるか，解説を加え違いをはっきりさせる。 主たる業績は2～3行の解説を加える。なお，重要度の低い業績は省略可。	平成○年○月 ○○学会紀事○巻 P○○～○○	○農林 太郎 ↑ 山田 二郎
	2)について（講演要旨） ← 一について一	平成○年○月 ○○○○学会 講演要旨集第○集 P○○～○○	○農林 太郎
	3) abcdefg hijk lmno qrst (.) ← 外国語の場合は和訳する。	平成○年○月 abcdefg (和 訳) ○巻○号 P○○～○○	○農林 太郎 A. B. Cdefgh (カタカナ)
	4) 投稿中の場合はその旨記載し，発行予定年月及び巻号を記載する。なお，必ず受理書を添付の事。	平成○年○月 ○○報告 (投稿中) ○号 ↑ 発行予定 : ○年○月 ↑	○農林 太郎
(公刊図書)	1)について 公刊図書の場合は誌名及び発行元を記載する。	平成○年○月 「○○の○○」 (○○○堂) P○○～○○	○農林 太郎 山田 二郎
◎ 以下「学会（誌）発表」の例と同様に業績整理区分毎に業績を列記する。 なお，テーマ毎に新しいページとすること。			
(機関誌発表)	1) 2) 3)		
(その他)	1) 2) 3)		

(1)

(2)

(3)

最終ページに業績の合計を入れる。
(サブテーマ毎には不要)

合 計

学会（誌）発表
公 刊 図 書
機 関 誌 発 表
そ の 他

ー 4)

共同研究者

農林 太郎
山田 二郎

農林 太郎

農林 太郎
A. B. Cdefgh
カタカナ)

主任担当
業績数

○○点 (○○)

○○点 (○○)
○○点 (○○)
○○点 (○○)
○○点 (○○)

(4)